県立高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	A 妥当である Ⓑ おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特色ある、素晴らしい教育活動について、中学生にも情報提供をしていただきたい。 ・ 道徳やICTを活用した公開授業により、深い学びの実現に向けて具体的な取組が行われています。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	A 妥当である Ⓑ おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や生徒アンケートの結果を含め、具体的な数値を真摯に受け止めたうえでの自己評価であり、適切であると認識しています。 ・ 学年によって多少見取り方が違うのか、実態に合った評価となっているのか判断しにくいところがあります。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	Ⓐ 十分把握している B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題把握が組織的に行われて、評価表に整理されていることと思いますので、職員一人一人の意識に反映され、日々の教育活動が実践されるよう期待いたします。 ・ 各教科毎に細かく課題が把握できている。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	A 適切である Ⓑ おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商業科の体験を通しての学びを重視している点、そして失敗から学ばせたいという教師の思いや手法はこれからも学校の機能として重要であり続けると認識しています。是非継続していくようお願いいたします。 ・ 各学年と各教科・領域の縦と横の連携が意識された内容があってもよい。
5. その他（何かお気付きの点があればご記入ください）	/	<ul style="list-style-type: none"> ・ 那珂湊中学校との交流を大切にしていきたい。本校にとって、地元の高校との交流活動は「特色ある教育活動」として位置付けていきたい。 ・ コロナ禍の影響により、ICT活用などの創意工夫がなされている。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。